

にしわが 福祉だより

編集・発行：社会福祉法人 西和賀町社会福祉協議会

〒029-5614 西和賀町沢内字太田2-81-1

TEL 0197-85-3225 FAX 0197-85-3234

Homepage <http://nishi-shakyo.net/>

E-MAIL info@nishi-shakyo.net

福祉だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しております。

No.28 2012.6.25



じぶんの町を
良くするしくみ。

平成二十四年度は東日本大震災から一年
が経過しますが、沿岸の津波被災地域は厳
しい現実に直面しており、復旧・復興の途
上にあります。本町においては、少子・高
齢化、人口減少がより進行しており、その
結果、独居高齢者等の増加、限界集落と呼
ばれる地区の出現など、地域コミュニティ
の崩壊による地域の助け合いや見守りなど
も弱体化し維持できなくなってきた現
実があります。さらには福祉や医療分野の
人材確保も厳しい社会となっています。
こうした中、今年度は介護報酬改定が行
われることから、介護サービス利用者減な
ど介護事業収支にかかる現状分析と課題解
決に向けた取り組みも必要になってしまいます。

- 四、地域におけるすべての人が、自立し安
心して暮らせるように制度の狭間や社会
的弱者に対する先駆的・モデル的事業に
積極的に取り組みます。
- 五、情報公開、説明責任、経営の透明化な
ど健全で適正な経営を目指します。
- 六、経営・財政基盤を強化し、地域住民か
ら安心と信頼感がもたらされる組織体制を整
備します。

【基本方針】

平成二十四年度は東日本大震災から一年
が経過しますが、沿岸の津波被災地域は厳
しい現実に直面しており、復旧・復興の途
上にあります。本町においては、少子・高
齢化、人口減少がより進行しており、その
結果、独居高齢者等の増加、限界集落と呼
ばれる地区の出現など、地域コミュニティ
の崩壊による地域の助け合いや見守りなど
も弱体化し維持できなくなってきた現
実があります。さらには福祉や医療分野の
人材確保も厳しい社会となっています。

- 二、住民参加を基本に、行政・関係諸団体
との連携協働による地域福祉の推進に努
めます。
- 三、この地域に住み続けたい願いを叶える
ために、地域における福祉課題の把握と
解決に向けた柔軟かつ計画的な取組みを
実施していきます。

【重点目標】

平成二十四年度 西和賀町社会福祉協議会 基本方針・重点目標

平成24年度 西和賀町社会福祉協議会 収支予算

経常活動による収入

会費収入	2,550,000
寄付金収入	300,000
経常経費補助金収入	21,929,000
受託金収入	19,553,000
事業収入	2,427,000
貸付事業等収入	1,000,000
共同募金配分金収入	2,816,000
介護保険収入	112,332,000
自立支援居宅介護報酬収入	1,969,000
雑収入	100,000
受取利息配当金収入	141,000
会計単位間繰入金収入	1,944,000
経理区分間繰入金収入	220,000
経常収入計(1)	167,281,000

経常活動による支出

人件費支出	137,478,000
事務費支出	14,995,000
事業費支出	9,896,000
貸付事業等支出	1,000,000
共同募金配分金事業費	1,270,000
助成金支出	944,000
経理区分間繰入金支出	220,000
会計単位間繰入金支出	1,944,000
経常支出計(2)	167,747,000
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-466,000

施設整備等による収支

施設整備等寄付金収入(4)	0
固定資産取得支出及び繰入支出(5)	1,200,000
当期資金収支差額合計(6)=(3)+(4)-(5)	-1,666,000
前期末支払資金残高(7)	1,666,000
前期末支払資金残高(8)=(6)+(7)	0

西和賀町社会福祉協議会理事名簿

役 職	氏 名	職 業
会 長	太田 祖電	僧侶
副 会 長	高橋 武雄	自 営
副 会 長	米沢 光男	農 業
理 事	高橋 一雄	団 体 役 員
理 事	高橋 紹郎	無 職
理 事	高橋 厚子	農 業
理 事	有馬 忠夫	農 業
理 事	高橋 成	無 職
理 事	和泉 和子	自 営 業
理 事	岩井 貞一	農 業
理 事	平藤 節夫	農 業
理 事	高橋 雅樹	自 営 業
監 事	佐々木 博	農 業
監 事	柳沢 好徳	農 業

平成二十四年五月二十二日に行われた評議員会において、理事及び監事が選任されました。
任期は、平成二十四年五月二十六日～平成二十六年五月二十五日です。
なお、平成二十四年五月二十四日に行われた理事会において、会長及び副会長が選任されました。
就任された理事・監事の方は次の通りです。

●新理事・監事が選任されました。

西和賀町心配ごと相談所相談員名簿

相 談 員 名	選 出 区 分	備 考
藤原 忠正	人権擁護委員	
高橋 信男	人権擁護委員	
高橋千賀子	人権擁護委員	
和泉 昭	人権擁護委員	
古澤 邦廣	行政相談員	
高橋 弘	行政相談員	
照井 満	民生児童委員	
高橋 明雄	民生児童委員	
小田島信一	民生児童委員	
佐々木靖子	民生児童委員	
高橋 秀幸	民生児童委員	新 任
高橋 健	民生児童委員	新 任
安部 修司	弁 護 士	はなまき法律事務所
高橋 純一	常 設 相 談 員	
照井 盛丈	常 設 相 談 員	

成 任期は、平成二十四年四月一日～平成二十六年三月三十一日です。
相談員の任期満了に伴い、心配ごと相談員が新たに選任されました。
ようしくお願いいたします。

●心配ごと相談員の紹介

平成23年度 西和賀町社会福祉協議会 収支決算

経常活動による収入

会費収入	2,553,600
寄付金収入	293,210
経常経費補助金収入	19,829,653
受託金収入	23,900,880
事業収入	7,807,726
貸付事業等収入	993,000
共同募金配分金収入	2,791,837
介護保険収入	109,505,319
自立支援居宅介護報酬収入	2,006,279
雑収入	92,557
受取利息配当金収入	280,096
会計単位間繰入金収入	1,215,000
経理区分間繰入金収入	220,000
経常収入計(1)	171,489,157

経常活動による支出

(単位：円)

人件費支出	135,620,443
事務費支出	14,487,208
事業費支出	10,338,194
貸付事業等支出	950,000
共同募金配分金事業費	1,232,000
助成金支出	3,284,771
会計単位間繰入金支出	1,215,000
経理区分間繰入金支出	220,000
経常支出計(2)	167,347,616
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,141,541

施設整備等による収支

施設整備等寄付金収入(4)	4,000,000
固定資産取得支出及び繰入支出(5)	5,785,000
当期資金収支差額合計(6)=(3)+(4)-(5)	2,356,541

平成24年度 西和賀町社会福祉協議会 職員体制

総務企画課

高橋 純一	事務局長
照井 盛丈	課長
佐々木幹子	課員
柿澤 成憲	課員
有馬 絹	学童指導員
新田マリ子	学童指導員
佐々木靖子	学童指導員

在宅福祉課

廣田 宏	事務局次長兼課長
------	----------

デイサービスにしわが

千葉裕美子	チーフ
小田島 望	介護員
高橋 素子	看護師
高橋 済夏	看護師
柿澤 由紀	介護員
高橋恵美子	介護員
照井 陽子	介護員
高橋 朱実	介護員
永瀬 昌子	介護員
高橋真由子	介護員
山田 佑美	介護員
中島由美子	介護員
梨子下綾香	介護員

訪問入浴にしわが

高橋八志子	チーフ
小原祐子	看護師
長谷山 恵	介護員

ホームヘルプにしわが

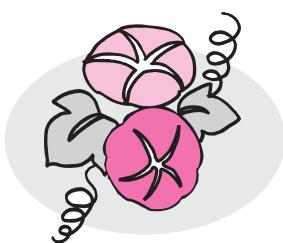
高橋美佐子	チーフ
菊地嘉子	介護員
藤戸幸恵	介護員

ケアプランにしわが

佐々木洋子	チーフ
高橋和子	ケアマネージャー
高橋範子	ケアマネージャー

地域福祉課

廣田 宏	事務局次長兼課長
飯野博康	主任
五十嵐房枝	包括プランチ
高橋令子	学童指導員
藤原けい子	学童指導員
照井秀夫	悠々館管理人
武田孝一	悠々館管理人



ボランティア活動をする際は、加入をお勧めいたします。

ボランティア活動中や活動場所への往復の途上で、ケガをしてしまった、あるいは人にケガをさせてしまった、物を壊してしまった、自分が怪我をしてしまった！そんな方が一の事故を補償する保険です。

○加入できる方

福祉協議会及び構成員・会員並びに福祉協議会が運営するボランティア、登録されて

○対象となる活動

他人や社会に貢献する無償のボランティア活動

※有償の活動、学校管理下の活動、自治会や老人クラブが行う組織運営等の活動、海難救助・山焼き等の活動は対象外になります。

○補償の対象となる事象（一部抜粋）

◆活動中に負った不慮の事故によるケガ
◆活動中の偶然な事故により他人に負わせてしまったケガや損害
◆台風などの風水害や熱中症などによる被害

○加入期間

加入の翌日から、翌年三月三十一まで。

○掛け金

基本タイプA 二八〇円 B四一〇円

天災A 四九〇円 天災B七二〇円

※災害ボランティアは、天災タイプの加

入です。

ご不明な点がございましたら、福祉協議会までお問い合わせください。

ボランティア団体

「ビー・ハンター」活動開始

町内の蜂退治ボランティアグループ「ビーハンター」（代表 高橋純一）へ活動を容易に且つ安全に行えるよう「蜂防護服」購入資金二〇万円が岩手県ボランティア育成会より助成されました。

グループは今後、この防護服を着用して一人暮らし高齢者等の要援護者宅の蜂の巣退治を行なうことになります。

また、防護服の有料貸出もいたします。

詳しいことにつきましては、社会福祉協議会のアクション大舞応事業へ申し込みください。



問い合わせ先

西和賀町社会福祉協議会
本部 85-3225 支所 84-2161
お気軽にお問い合わせください。

★ご利用ください 心配ごと相談所★

毎週木曜日を開設日としております。

太田会場 太田老人福祉センター 10時～12時
川尻会場 悠々館 13時30分～15時30分

【7月】

5日 太田（行政）
12日 川尻（人権）
19日 太田（一般）
26日 川尻（一般）

【8月】

2日 川尻（行政）
9日 太田（人権）
23日 太田・川尻（法律）
30日 川尻（一般）

相談内容は秘密厳守です。お気軽にお越しください。